

茨城 建築 文化賞

第29回



茨城県知事賞[最優秀賞] 土合舎利保育園
●株式会社 日比野設計+幼児の城



南小学校



夕日の郷 松川

展開に期待するとともに、町としてトイレや芝生を整備し有効活用を図ります。

(6) その他の復興への取り組み

その他にも、国道51号から大貫台への進入路、かあちゃんのお店と水産物加工処理・冷凍倉庫施設、製氷貯氷工場施設、災害拠点としての大洗キャンプ場機能強化や消防第二分団詰所の高台移転などを竣工させました。

28年度は、町の長年の悲願でありシンボルロードと位置づける「都市計画道路駅前海岸線」やサンビーチからの避難路3路線、大洗マリーナから宮下地区にかけて防潮堤を築き防災機能を高め、ビーチスポットのメッカの礎となる「サンビーチ津波高潮対策事業」を成し遂げます。

安全・安心な災害に強い生活環境が確保されることは当然のことながら、大洗町の交通体系をはじめとする利便性の向上、そして地域振興へ大きく貢献すると考えております。

子育て支援体制の充実

28年4月には、大貫小学校と夏海小学校の統合校「南小学校」が新築の校舎とともに開校しました。校舎

は南中学校と併設となり、太平洋を一望できる高台にあります。水平線の広がる海辺を望める景色は子ども達に大きな夢を抱かせるには十分な環境です。

校歌(作詞/谷川俊太郎さん、作曲/池辺晋一郎さん)の「大洗の海は世界へと開いている」の歌詞に負けぬよう、大洗の将来を担い世界で活躍できる人材に成長することを期待してやみません。

南小南中、大洗小・一中という2つの小中併設型校舎が完成し、小学生と中学生が共に学び合い、学校生活を送ることができる環境となりました。今後は効果的な小中連携教育が展開できるものと確信しています。

復興から創生への新たなステージへ

「大洗町人口ビジョン」では、2020年までに転入転出による移動率を均衡させ、2040年の出生率を2.0まで引き上げ、将来人口の目標を約15,000人と設定しています。

現在、大洗町は「アニメ」「ガールズ&パシフィック」の聖地として賑わい、多くの若者に町内を散策いただいています。町民の皆さんもおもてなしの心を持つ「心地良さ」を提供し、深く触れ合

うことで信頼関係を築いているところ。またラムサール条約登録湿地帯で、未来に残したい自然の美百選にも選ばれた潤沼湖畔に「夕日の郷松川」を新たにオープンさせました。都市と農村の交流・地域内の交流拠点を目指します。

さらには「大洗町まちひとし」と創生総合戦略で4つの基本目標を定め、21種類の施策パッケージと91の施策を推進します。首都圏のオアシスとして交流人口の拡大が図られ、雇用や起業機会が創出され、やがては移住・定住促進、人口の維持へと繋げ、必ず「大洗創生」を成し遂げてまいります。

おわりに

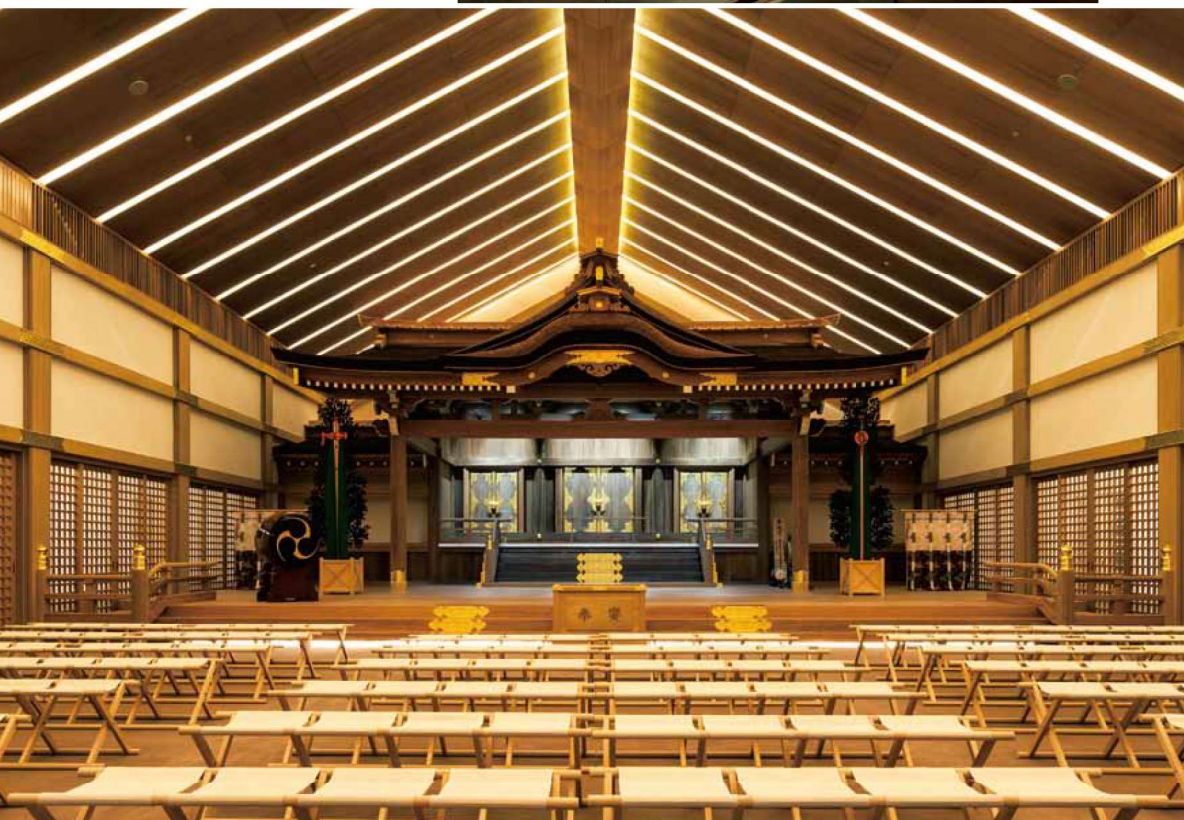
今後とも「小さくとも、キラリと光る大洗町」に向けてまちづくりを推進してまいりますので、茨城県建築士事務所協会の会員の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【特別賞】

鹿島神宮 祈祷殿・社務所

- 株式会社 馬庭建築設計事務所
住所／京都府京都市東山区五条橋東6丁目506 電話／075-531-2349
- 協力事務所 構造／株式会社 ティ・アンド・エイアソシエイツ
電気・機械／株式会社 エイアンドエスシステム
- 建物所在地／茨城県鹿嶋市宮中 2306-1
- 建物用途／神社 ●構造／鉄骨造 ●建築面積／2,055.36㎡ ●延床面積／3,145.48㎡



**参拝者のための境内整備と拡張
ご祭神の武甕槌大神にふさわしい神厳な空間を**

鹿島神宮にお参りする人が最初に感動するのが境内の樹木の大きさと数の多さです。

霊木が立ち並ぶ奥深い神域の中で、千古の歴史を有する社殿に随伴する新しい祈祷殿・社務所・参集殿を一体の建築として計画しました。配置に当たっては、大鳥居から楼門そして奥宮に続く真つすぐな既存の参道に対し、新たに御本殿を起点に北に延びる参道を設け参拝者のための境内整備と拡張を図りました。

建物は谷を立体的に利用すること

で低く抑え、景観上からは入母屋屋根は三つの棟に分節し、屋根の流れも一段とし棟や軒先は水平ラインを整え、本殿や森との調和を図りました。

内部では、玄関ホール待合から吹き抜けで連続した地階待合ホールに最大限に鹿島の緑を取り込んでいます。中心となる祈祷殿の中の御神殿は伝統的な千鳥破風と唐破風の組合せに松皮葺とし、また柱や梁に境内の黒い杉を使用し、LED照明を用いて、ご祭神の武甕槌大神にふさわしい神厳な空間としました。



茨城県知事賞[最優秀賞] 土合舎利保育園

- 株式会社 日比野設計+幼児の城
住所／神奈川県厚木市飯山2343 電話／046-241-3339
- 協力事務所 構造／株式会社 シェルター 電気・機械／株式会社 空間設備コンサルタント
- 建物所在地／茨城県神栖市矢田部793-16
- 建物用途／保育所 ●構造／木造 ●建築面積／1,710.22㎡ ●延床面積／1,464.90㎡



風と遊ぶ園舎

住宅立地が進む地域のニーズにより新設された保育所。一年を通して風の強い日が多く、安定した保育環境が求められました。そこでコンセプトを「風」としてプロジェクトを進めました。風がまわるような回遊性をもつ廊下とし、かさぐるまの羽根のように各室を配置する事で落ち着いた静かな中庭をつくり出しています。ここにダイニングを配置し、テラス側に大開口を設けることで内外が一体的な食の空間としていきます。また、トイレを中庭の南側に向けてガラス張りとして明るく楽しい雰囲気づくりと紫外線による除菌効果を高め、風が舞うイメージでトイレブースや手洗いをレイアウトしました。一方、年齢が高い保育室側は築山や芝のトラップがある動的な外庭を設けています。ダイニングや保育室、遊戯室といった子どものための空間は、現示したり木製サッシを採用する事で暖かく柔らかな雰囲気とし、合わせハイサイドライトの採光・通風により極力機械に頼らない環境としています。



茨城県議会議員賞[優秀賞] 株式会社 ユーゴー本社プロジェクト

- 井川建築設計事務所
住所／茨城県稲敷市古渡613 電話／029-894-3848
- 協力事務所 構造／ASD 電気・機械／有限会社 石田設備設計事務所
- 建物所在地／茨城県小美玉市中延1788
- 建物用途／事務所 ●構造／木造
- 建築面積／516.46㎡ ●延床面積／447.08㎡



別荘で過ごしているようなオフィス空間

【設計主旨】

このプロジェクトは、小美玉市の自然豊かな環境に計画された木造平屋のオフィスプロジェクトです。一般的に見られる画一的なビルのようなオフィスではなく、地域の自然を活かすことで、効率的なオフィスでありながらも、どこかの別荘で過ごしているような、季節を感じ気持ち安らぐオフィス空間を目指しました。

【ポイント1／空間】

オフィススペースには、雑木林が眺められる壁一面のパノラマ窓を設け、

仕事の中ふとした瞬間に外の緑が感じられる空間になっています。また、なるべくエアコンを使わずにすむように、部屋の両側に地窓と上部の窓を設けて、温度差換気による自然な通風を促す計画としています。

【ポイント2／地域財の活用】

もともと敷地はスギやヒノキが生えた人工林でした。それを伐採、処分するのではなく、室内の仕上げ材として有効活用することで、単に自然素材を使うのとは違いストーリーのある空間となっています。





茨城新聞社賞【優秀賞】

日立市立水木小学校

●株式会社 横須賀満夫建築設計事務所

住所／茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル 電話／029-225-4353

●協力事務所 構造／有限会社 崇建築研究所 電気／川又設備計画

機械／株式会社 菊地設備設計事務所

●建物用途／小学校 ●構造／RC造一部S造 ●建築面積／3,424.94㎡ ●延床面積／6,853.70㎡



3つの分棟は、民家と庭の構成をモチーフに

光輝く太平洋と緑豊かな山谷を望むこの丘に、伝統と風土に調和した温かく、やさしく、楽しい飛躍のステージを創出しました。様々な表情を持った空間の中で学習や異世代交流、地域交流がスムーズに行われる環境をつくり、人づくりや街づくりにつながる学校としました。3つに分棟された教室は、海岸地域にある民家と庭の構成を通りの構成をモチーフにしました。

新校舎と既存校舎を一体化させた上で、新校舎は管理・普通教室ゾーン、既存校舎は特別教室・地域開放ゾーンと明確に機能性分けを行っています。日照や通風、水木浜への眺望を積極的に採り入れた全室南面の健康配置とし、3クラス分の普通教室と多目的スペースで構成された学年ユニットと、中間階（2階）に配置されたメディアセンターを連携させることで魅力的な学習環境としています。また、スポーツテラスなどの半屋外空間と室内空間の融合により学校の活動空間に広がりを持たせています。

校舎中央に階段状の大講義室を計画

石岡第一高校は、誠実・自治博愛を校訓に、明治43年に創立された県内有数の伝統校であり、100年以上にわたって多くの卒業生を輩出しています。そんな伝統校に相応しい風格ある校舎を目指し、2層分のピロティを校舎中央に据え、特徴的な冠木門形の外観デザインとしました。大きなピロティは生徒、職員、来客者の総合玄関であると共に、雨の日でも使える外部空間として活動的な空間となっています。

1階に小講義室2室、多目的室2室を設けるとともに、校舎中央に階段状の大講義室を計画することで、各学年週3回行われる平常課外や土曜課外、長期休暇中の集中課外に対し、フレキシブルな対応が可能となります。色彩計画においては、教室は学習空間に適した落ち着いた色調とし、階段や廊下はアクセントカラーを使用することで、明るく楽しい学校生活を象徴するような空間づくりをしています。



写真：堀内広治

茨城県土木部長賞【優秀賞】

石岡第一高校管理・普通教室棟

●三上建築事務所・エイプラス建築関連業務共同企業体

住所／茨城県水戸市大町三丁目4番36号 電話／029-224-0606

●協力事務所 構造・電気／株式会社 三上建築事務所 機械／明野設備研究所

●建物所在地／茨城県石岡市石岡一丁目9番

●建物用途／高等学校校舎 ●構造／鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造

●建築面積／2,298.25㎡ ●延床面積／5,446.04㎡

●株式会社 Ludogram 一級建築士事務所
住所／東京都台東区北上野2-11-3 電話／03-5246-4722
●協力事務所 構造／一級建築士事務所 南川設計室 電気／株式会社 北斗管工 機械／株式会社 北斗管工
●建物所在地／茨城県東茨城郡大洗町 ●建物用途／個人住宅
●構造／壁式鉄筋コンクリート造 ●建築面積／189.58㎡ ●延床面積／251.75㎡



【住宅部門優秀賞】ノボリノイエ

特徴は登り窯の構造に似た空間構成

海から少し高台にあたる敷地の斜面に沿って登り窯のような家を設計しました。

この建物の特徴は登り窯の構造に似た空間構成で、5層の建物の斜面に沿って階段状に配置し、階段室とPITによって繋げていきます。高低差による煙突効果により空気の流れを作り出し、その原理で地下PITから年間を通して15度に保たれた地熱を引き込み安定した室内環境を実現しています。また最上階の開口部を開けるとベンチური効果による効率的な換気も可能です。

果たはつて、階段状の断面計画により各部屋の上には上階のテラスが配置され、建築内部と海が繋がることによって、部屋面積に左右されない開放感を持たせました。それぞれのフロアから建物の南側の庭に出ることが可能で、建物内部と庭、建物内部と海が繋がることによって、そこを利用する人々の様々なアクティビティに対応します。訪れる人々が目の前に広がる壮大な海を感じながらひと時の有意義な時間を過ごせる建築です。

【住宅部門最優秀賞】日立の家

●有限会社 宮本建築アトリエ 住所／茨城県水戸市千波町2274-18 電話／029-244-7711
●協力事務所 構造／有限会社 都市環境計画コンサルタント
●建物用途／一戸建ての住宅 ●構造／鉄筋コンクリート造 ●建築面積／186.06㎡ ●延床面積／167.07㎡



光や風、風景が入り込んでくる数寄屋住宅

敷地は開口12・5メートル、奥行35メートルと南北に細長く、北側には日立特有の起伏のある街並みと山並みの風景が広がっています。

コンクリートという重厚な素材を使いながらも、大きさも性格も異なる5つの庭とのつながりを持たせた日本的な配置とし、光や風、さらには風景が家の中に入り込んでくるような数寄屋住宅を表現しました。

来客ゾーンとプライベートゾーンを明確に分ける為に、リビングダイニングを中心として、西側を来客ゾーン、東側をプライベートゾーンとしました。

2つのゾーンに挟まれるリビングダイニングは、天井を心地よい高さとし、南北とも高窓を取ることで、限られた開口の中で光と風に対して考慮しました。また南北に庭を配置することで、プライベートシーを確保しながらも、開放的な自然に接する空間としました。

【入選】取手競輪場新メインスタンド

●株式会社 横須賀満夫建築設計事務所 住所／茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル 電話／029-225-4353
●協力事務所 構造／さくら構造株式会社 電気／川又設備計画 機械／株式会社 菊地設備設計事務所 ●建物所在地／茨城県取手市白山6丁目乙747-2他319等
●建物用途／観覧場 ●構造／RC造一部S、SRC造 ●建築面積／2,542.83㎡ ●延床面積／6,892.61㎡

子供からお年寄りまで楽しめる空間提案

県営取手競輪場は昭和25年のオープンから約58年を経過し、建物の老朽化及び観覧入口の減少に伴い、施設利用者の低下が進んでいました。そこで老朽化の著しい旧メインスタンドの機能を旧バックスタンドに移し、一部を改築、一部を耐震改修しリニューアルしました。

親しみやすい競輪場

新たな機能として女性専用室、競輪をPRする展示スペース、オーブンスタジオなどを設け子供からお年寄りまで誰もが楽しめる空間を提案しました。また、競輪のスピード、迫力をまじかで見られる場として、バックに隣接した屋外観覧席も設置しました。

構造計画

3階の観覧席は無柱空間としその上階に審判室を配置する必要があったため、4〜5階についてはSRC造の柱からS造の斜材を設け、はね出し部分を吊る構造を採用しました。耐震改修については、在来の鉄骨ブレース工法を採用し施工のし易さに配慮すると共に効率的に配置することで来場者の動線や観覧視線の妨げとならない計画としました。



【住宅部門優秀賞】プライベートデッキを囲む家

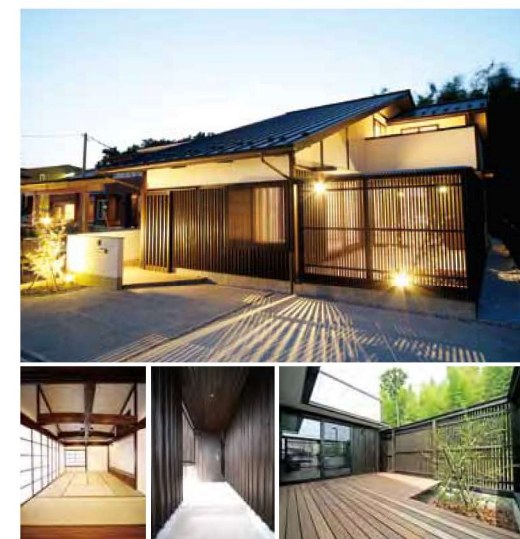
●株式会社 カナヅ建築設計事務所 住所／茨城県水戸市吉沢町268-3 電話／029-246-6812
●建物用途／専用住宅 ●構造／木造 ●建築面積／99.78㎡ ●延床面積／163.13㎡

プライベートの確保と伝統的間取り

市街地に住むとき、常にその利便性と相反してプライベートの確保の難しさという課題に直面します。この住まいは、「公共空間」「敷地内屋外空間」「屋内のプライベート空間」に明確に分けてその境界をデザインしプライベートを確保しました。プライベートデッキの空間は日本の伝統的仕様である「格子」を大胆に採用し、光と風を取り入れながらプライベートも確保し「心地よい屋外空間」を創出しました。

住まいの構造体は茨城の民家の伝統的間取りである「田の字」プランを採用し、現代的空間へ応用展開させ、その特徴である「広々と広がる内部空間」を実現しました。各スペースが、架構グリッドにより大きく区分けしてあるが、空間としてひとつながりとなっています。大黒柱もその架構の結果として構造的役割を担っています。

茨城の市街地に建つ住まいの在り方の一つとしてデザインしました。



●三上建築事務所・エイプラス建築関連業務共同企業体
住所／茨城県水戸市大町三丁目4番36号 電話／029-224-0606
●協力事務所 構造／三上建築事務所、人質建築構造設計事務所
電気／三上建築事務所、前川フロンティア 機械／三上建築事務所、NASファシリティーデザイン室 ●建物所在地／茨城県水戸市大町2丁目12番14号
●建物用途／高等学校校舎 ●構造／RC造一部S造 ●建築面積／1,359.03㎡ ●延床面積／3,725.93㎡

【入選】水戸第二高校・特別教室棟



写真：堀内広治

直射日光を制御し、夏の直射日光を遮断する

水戸第二高等学校は、明治33年茨城県高等女学校として発足し、2010年に創立110周年を迎えた県内有数の伝統校です。最近ではスーパーサイエンススクールとして実績を上げています。

本校舎は、先の東日本大震災により被災を受けた校舎の建替事業として計画されました。

水戸市中心部にある敷地の有効活用の観点から、既存校舎と比較してコンパクトに集約されました。校舎は中央に3層吹き抜けの動線空間

を設け、南側に1・2年生の普通教室、北側に理科系・家庭系の特別教室、SSH研究発表会や講演会などにも使われる視聴覚室などを配置しています。直射日光を制御し、夏の直射日光を遮断するパーチカルなルーバーが生み出す表情によって、校内景観を大きく更新しました。

歴史と伝統に加え、特色のある教育を実践している水戸二高に、夢と希望を託した生徒一人ひとりの志を実現するにふさわしい学校のシンボルとなることを期待します。

●有限会社 時空造園 住所／茨城県つくば市榮崎999-7 電話／029-850-6710
●協力事務所 電気・機械／有限会社 土浦建築設備設計事務所
●建物所在地／茨城県つくば市大字沼田字新田1690-3
●建物用途／休憩所 ●構造／在来木造 ●建築面積／117.65㎡ ●延床面積／147.98㎡

【入選】筑波山おもてなし館



現代的な透明感で風景と建物が混ざり合う

建築の目的は以下のとおりです。

- ①梅のシーズンだけでなく、通年を通して観光客を呼べること。
- ②フィールドアスレチックの受付や事務所が必要であること。
- ③暗いイメージがあった民間施設の跡地を、明るく、品格のあるイメージに変えること。
- ④つるつるする場をつくること。

建築のデザインは、これまでの偽民家調の建物とは対照的な、現代的な透明感で、風景と建物が際立ちながらも混ざり合うものをめざしました。

構造は在来木造ですが、耐力壁を外周に井桁状に配置することで、室内と室外を隔てる壁を取り払い、林の中を散策して通り抜けるような感覚で、2方向からアクセスできます。

縦のラインは、木製建具とし自然の風景を邪魔しない色合いにしました。それに対し、破風と天井は、自然に白く浮かび上がらせました。高さのボリュームを抑え、樹林の風景を邪魔しないようにしました。

【入選】古河市立学校給食センター

●株式会社 日立建設設計 設計本部一級建築士事務所 住所／東京都千代田区内神田3-1-7 電話／03-6757-7116
●協力事務所 構造・電気・機械／株式会社 日立建設設計 本社設計部一級建築士事務所
●建物所在地／茨城県古河市関戸1014-1他5筆 ●建物用途／学校給食センター ●構造／鉄骨造 ●建築面積／4,004.06㎡ ●延床面積／5,532.62㎡

幅広く食育を推進できる工夫とビタミンカラー

本建屋は、既存3施設の老朽化により統廃合して建て替えられた、12,000食の提供が可能な学校給食センターである。計画では「地域の安心を支える給食センター」のコンセプトを基に、「安心安全」「地域の食育推進」発信拠点をキーワードに計画した。

1階の調理エリアはHACCPの概念に基づくレイアウトと最先端のドライ厨房システムを採用し、高度な衛生管理と効率的な運営を可能にした。2階の食育エリアは、下処理

理室から調理・洗浄まで一連の作業が見学できる大きな見学窓を設けるとともに、エアシヤワーや回転釜、攪拌器具を設置し疑似体験できる体験コーナー、パネル展示や掲示ができる展示ホール、見学会・試食会などの活用ができる会議室など、幅広く食育を推進できる工夫をしている。また内装は、ビタミンカラーをテーマとした明るいカラーを計画とし、子どもたちが見て、触れて体験して「魅せられる食育推進情報発信拠点となる施設を目指した。



【入選】にじいろ保育園

●株式会社 増山栄建築設計事務所 住所／茨城県土浦市荒川沖西1-4 電話／029-843-6011
●協力事務所 構造／有限会社 MASA建築構造設計室 電気／サンエス電気設計事務所
機械／有限会社 栄原建築設備設計事務所 ●建物所在地／茨城県つくば市大角字地下961番1
●建物用途／社会福祉施設(保育園) ●構造／木造 ●建築面積／881.40㎡ ●延床面積／780.00㎡

季節の変化感じ自然の恵みに感謝する家

つくば市の自然豊かな場所に建つ保育園です。

保育園は子供たちにとって大きな家であり、季節の変化を五感で感じ自然の恵みに感謝しながら日々を過ごしてほしいという施主の思いがこめられています。

木造平屋で越屋根がある和を基調とした建物とし、通園路は既存の雑木林を残して園児たちが木立の間を通ることができ、残土を再利用した建山では園児たちが幼苗緑化をしながら「共に成長できる森になる」ように計画しました。

保育動線や見守りに配慮し、各保育室を明確に分けながらも可動間仕切により多用用途に使えるようにしました。越屋根による重力換気、土壌蓄熱式床暖房等、自然の力を積極的に取り込みました。

色彩やインテリアは、園児専用の小さな木製ドア、木の幹を意識した図書コーナー、国産材を用いた家具や内装材を通して木の温もりを感じられるようにしました。



審査委員 ※敬称略・期不同・役職は平成28年3月現在

小場瀬令二(筑波大学名誉教授)／小柳武和(茨城大学大学院理工学専攻特任教授)／長島一道(筑波技術大学産業技術総合デザイ
ン学専攻教授)／山田茂(茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長)／鈴木安行(茨城県土木部営繕課長)／中村浩(茨城県土木部技
監兼都市局住宅課長)／野澤謙次(茨城県建築センター理事長)／柴和伸(茨城県建築士会会長)

【入選】エイトスタジオ日立本店

●株式会社 飯島洋行ancHAND建築設計事務所 住所／茨城県つくば市東新井16番地の2 電話／029-855-3055
●協力事務所 構造／株式会社 三上建築事務所 電気／前川プランニング 機械／株式会社 ティアトラス ●建物所在地／茨城県日立市大久保町三丁目269番
●建物用途／サービス業を含む店舗(写真スタジオ) ●構造／木造 ●建築面積／367.68㎡ ●延床面積／564.85㎡

小さな「まち」のような複合フォトスタジオ

日立市内、国道6号線沿いに新設された結婚式場、コミュニティスペースの機能を備えた写真館の計画です。近年、挙式需要は年々減少傾向が進み、「結婚式を挙げず、写真だけ残したい」という夫婦は多い」と言われています。そのような中で写真館内に式場やコミュニティスペースを備えることで、ひとつの施設の中で低コストの挙式プランを提案し、高付加価値の撮影サービスを提供していくワンストップ機能の施設の計画です。



「地域に人が集う施設」というコンセプトに応え、複合した機能を空間として分節し、なげいていくことで、複数の建物が連なる「まちなみ」を創出し、重なりあう多様な活動がそのまま通りににぎわいをつくります。建物の延べ床面積は565㎡の木造。1階に写真スタジオ2階にモダンなタートルーム、美容室を備え、2階には約20人が参加できる結婚式の礼拝堂と専用ロビー、衣装展示ルームなどを設置しています。このほか本社機能も移管します。



写真：堀内弘治

【リフォーム賞】四季を過ごす家

●井川建築設計事務所 住所／茨城県稲敷市古波613 電話／029-894-3848
●建物用途／専用住宅 ●構造／木造 ●建築面積／163.36㎡ ●延床面積／163.36㎡

日本家屋を活かし、ライフスタイルに合わせた

「ポイント」古民家改修省エネ対策、受け継ぐ家、先代から受け継いだ日本家屋の良さを活かしながら、施主家族のライフスタイルに合わせた改修計画を行いました。三組の息子家族が季節ごとに集まり、四季折々の風景と共に時を過ごす。家族が集える大きな空間を住まいの中心とし、天井の大きな梁を現すことで受け継いだ古



改修前の写真



き日本家屋の価値を見出し、新しい命の誕生とともに増えゆく家族がこれからの住まいで、歴史を刻んでゆきます。
【ポイント2】三世代同居に対応したプラン
個室計画は息子家族と同居可能なプランであり、将来子供室が必要になった場合でも経年変化の対応が可能なプランとなっています。

講評

筑波大学名誉教授 小場瀬令二

〈第1次審査の経緯〉

3月24日に審査員8名出席で第1次審査を実施した。今年の応募作品数は38作品で、概ね例年通りの数。第2次審査会場に掲示された作品を点検した後、一人10票の持ち点で住宅、リフォーム、建物の大小を気にせず投票した。その結果、1票以下しか獲得できなかった作品については第1回投票で不合格とした。そこで残った作品について議論して、一人5票の持ち点で第2回投票に移った。その結果、5票以上獲得した5作品については現地審査候補作品とした。ただ、この5作品の中に一点住宅作品が含まれており、これが最終4点の賞になりえそうか、住宅賞の最優秀にすべきか、議論をした。その結果、この作品は、住宅賞の最優秀賞が適切であるという結論になった。また、リフォーム賞については第2次投票まで進んだ1住宅作品を選定した。また、第1回投票、第2回投票で複数の審査員が押した住宅2作品についても、住宅

〈第2次審査の経緯〉

4月23日に審査員8名で4作品を現地見学した。見学終了後、直ちに第2次審査に移った。各審査員それぞれ4作品について講評コメントをし、議論をした後、一人1票の持ち点で知事賞から順番に投票に移った。その結果「土合舎利保育園」が4票を獲得し知事賞に輝いた。その後、再度議論をした後、議会議長賞の投票に移り、6票を獲得して「ユーゴー本社」が当選した。更に、議論をした後に、土木部長賞の投票に移るところで「鹿島神宮祈禱殿」については、この建物が伝統的な建物として極めてレベルが高く、他の3現地審査候補作品と比較しにくく、「知事賞」レベルでないと授与するのは、いかにものからず議論となった。そこで審査員の中で再度議論をして、「鹿島神宮祈禱殿」については「特別賞」とすることになった。そこで、自動的「石岡第一高等学校」が土木部長賞となった。今回、一次審査会で現地審査候補作品は4作品しか選定しなかったが、急遽「茨城新聞社賞」については、第2次審査

会で入選となった作品の中で、番高得点の「日立市立水木小学校」について再度書類審査を行い、受賞とした。今回の審査では、一次審査会と二次審査会で順位が入れ替わったり、「特別賞」を出すこともあったり、一次審査会の時に入選だった作品から「茨城新聞社賞」が出たりと、審査委員間でかなりの議論をして結論を出した。

〈各作品についての講評〉

知事賞に輝いた「土合舎利保育園」は幼児目線に合わせて全体に低い建物としてデザインされている。そのため、中庭のスケール感もよく、気持ちのよい空間になっている。また、ところどころに設けられた幼児の隠れ場所も魅力的であった。さらに、オープンなトイレのデザインも気持ちよく、給食室や遊戯室のデザインも実に巧みであった。全体に、幼児におもねるようなデザインはなく、禁欲的でありながら、圧倒的な「うまさ」が光る作品といえる。議会議長賞に輝いた「ユーゴー本社」は、郊外にあることから敷地をのびのびと使い、かつアプローチから玄関に至る導線の取り方も巧みである。事務室も、森の緑を見ながら執務ができる環境を確保している。また、昼休みなどに野外で昼食を取ったり、バーベキューをし

たりできる空間が、この会社の基本的姿勢を感じさせた。押しつけがましくなく、でも極めて会社の経営理念を空間化することに成功している作品ということで審査員から高い評価を得た。土木部長賞に輝いた「石岡第一高等学校」は、設計者の強い意志を感じさせる作品であった。アプローチ部分に3階分の吹き抜けを設け、また、入口部分の上部に大講義室の床が斜めにかかるというダイナミックな構成。さらに、建物床はポイドラフを使って、一切梁型が見えないデザインになっている。茨城新聞社賞に輝いた日立市立水木小学校は、既存の敷地の中での建替という厳しい条件の中で、南向きの校舎を確保するために大変努力をしてうまくまとめられている。コンクリートの校舎でありながら、仕上げに木をうまく使って優しいデザインになっている。特別賞に輝いた「鹿島神宮祈禱殿」は、谷を結ぶように配置され、1階建てであるにもかかわらず、内部から森を楽しむことができる。階段の上り下りがきくように、木造の建物ではないが、木造風に造られている。しかし、木造風に見せようといういやらしさを感じさせない。それは、全体に材料を吟味し、巧みに構成され、圧倒的な完成度であるため、「特別賞」にふさわしい作品になっている。